

支部長を拝命して1年



廣田晴郎 ひろたせいろう
結核予防会山口県支部長
(山口県予防保健協会理事長)

結核予防会山口県支部は、昭和42年4月に山口市において開設して以来、45年には小野田市に、46年光市、47年岩国市、48年に長門市に順次支所を開設していき、それぞれに胸部検診車を配置し、ほぼ県下全域を対象に結核検診を実施して参りました。昭和61年3月に財団法人山口県予防衛生医学協会と統合合併して財団法人山口県予防保健協会を立ちあげ、今日に至っております。

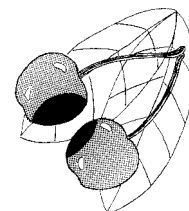
私は、第3代支部長として昨年4月に就任し、ちょうど1年を経過したところですが、昭和60年代に25万人を数えていたという受診者が最近ではその6割にも満たない状況であり、かつ、年々微減傾向が続いていると聞かされ「財団の経営も大変だな」と憂慮しているところです。

さらに、最近では地方自治体の台所も本当に厳しいところが多く、規制緩和の動きも相まって、検診事業の入札化が現実化しそうで、それも気になるところです。長期低迷が続くわが国では構造改革の必要性が叫ばれ続けていますが、当財団においても、この4月か

ら3支所の統廃合に踏み切ったところです。

さて、本県の結核罹患率は全国平均をかなり上回っており、一昨年の結核緊急事態宣言を受けて、県でも対策会議を設けておりますが、結核検診の受診率向上だけをとって、なかなか有効な策は見いだせない状況のようです。「生活習慣病」や「がん疾患の恐怖」などに比べれば確かに影の薄い「結核」ですが、これだけ長期間に渡りしぶとく生き延びてきている結核菌を「ほんとになめたらあかんで」と大きく叫びたい昨今です。

県民の命と健康を守る団体であります。行政関係の方々をはじめ、医師会など関係団体の皆様とも密接に連携しつつ、微力を傾けたいと存じます。



目次

メッセージ	支部長を拝命して1年	廣田晴郎..... 1	茨城県支部よりカンボジアへ胸部検診車贈呈	齋藤洋子.....21
緊急事態	結核緊急事態調査結果について	星野斎之..... 2	ミャンマーでDOTSモデルタウンシッププロジェクト始まる	久保田登子.....22
	世界から見た日本の結核対策	須知雅史..... 6	アジアにおける結核・肺の健康会議(マニラ)開催される	石川信克.....24
	第52回結核予防全国大会・報告		~IUATLD ER会議~	
大会を顧みて	関口良文..... 8	第9回胸部集団検診統計担当者会議	白井義修.....26	
第1分科会レポート	相良安信.....10	思い出の人を偲んで	青柳昭雄先生 島尾忠男.....28	
第2分科会レポート	中川洋一.....11	北から南から各地のたより30	
決議・宣言12	マスコミ資料(結核・たばこ・肺がん関係)15・18	
大会プログラム13	予防会だより31	
第6回国際結核セミナー	小林典子.....14	[表紙写真] 東洋のナイアガラ(曾木の滝) 鹿児島県支部		
特対事業(全国) 全国結核対策連絡協議会		鹿児島県の北部を流れる川内川中流にある「曾木の滝」。幅210m、高さ12m。急な崖をしぶきをあげて落下する大滝の雄大な景観は素晴らしい、東洋のナイアガラと称されています。滝の上には、千畳岩と呼ばれる平坦な岩床が広がっており 四季折々の景観も大変美しく、訪れる人を魅了しています。		
特別事業(全国) 全国結核対策連絡協議会	風見嘉子.....16	[カット] 佐藤奈津江		
ずいひつ	後楽園プロ野球	山下英秋.....19		
	第2回結核予防会胸部X線写真読影医師研修会	高瀬 昭.....20		